

# 令和4年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

府中市立府中第一中学校

教科：技術・家庭（家庭分野）		
生徒の学習状況	1年	学習規律を守り授業を受けることができている。被服製作には意欲的に取り組むが基礎的な技能や工夫・創造する力がついていない生徒が多い。また、苦手感から集中の続かない生徒がいる。
	2年	授業では発言が多く、意欲的に学習するが、振り返りやレポートでは自分の考えをまとめることが苦手な生徒が多い。基礎的な知識はおおむね理解できているが、自分自身に結び付けることができている。
	3年	授業では発言が多く、意欲的に学習している。学習内容をよく習得しており、だいたいの生徒が基礎的な知識・技能は身につけているが、自分の考えを入れながらまとめることが苦手な生徒がいる。
現状の課題	1年	クラス一斉の指示では内容が理解できず、個別での指導が必要な状況がある。小学校時での学習内容に差がある。
	2年	「B 食生活と自立」の分野の基礎技能が身につけていない生徒が多い。
	3年	学習内容の結びつきや広い視点で考えることができない生徒がいる。
具体的な授業改善策の方策	◎主体的、対話的で深い学びの視点から	
	1年	ペアワークで一緒に確認する、お互いに教え合う活動を通して基礎技能の定着をはかる。ワークシートに本時の振り返りを書き、実習中に気が付いたことや新しく発見したことをまとめる。一斉指導で分からない生徒には個別に説明する。
	2年	「B 食生活と自立」の基礎技能については実習を多く行えるよう計画的に取り組む、お互いに教え合う活動を通して定着をはかる。
	3年	単元を通して1枚の学習カードを活用し、今までの学習内容を広い視点で考えられるようにする。
	◎学びに向かう力等を育むための視点から	
	1年	学習カードを使い、製作の見通しをもたせる。縫い方が分からなくなってしまう生徒は各自のタブレットで縫い方の動画を見て確認できるよう見本動画を準備しておく。
	2年	単元の課題に対して予想を立て、毎時間の授業の振り返りを記入させる。また、自分の生活につながることも考えさせる。また自分の生活と結び付けられるよう身近なものを例としながら学習を進めていく。
	3年	学習カードを使い、単元の課題に対して初めに予想を立て、毎時間の授業の振り返りを記入させる。広い視点で考えられるよう、関連する別の単元や身近なものを例としながら学習を進めていく。単元の終わりには、自分の学びを振り返り、単元の課題について自分の考えを文章でまとめさせる。